

第19回 電気システムセキュリティ特別技術委員会
議事録(案)

日時 : 平成28年 10月 17日(月) 15時00分~17時15分

場所 : 自動車会館 1階 会議室

出席者 : 栗原委員長, 寺井委員(A部門長), 芹澤委員(C部門長), 泉井委員(C部門代表),
澤田委員(C部門代表), 小林委員(D部門代表), 笹岡委員(E部門代表),
瀬戸委員(2号委員), 芹澤委員(2号委員), 奥村委員(2号委員), 毛塚委員(2号委員),
桂幹事(敬称略), 以上11名

配付資料

- 資料19-0 第19回 電気システムセキュリティ特別技術委員会 議事次第
- 資料19-1 第18回 電気システムセキュリティ特別技術委員会 議事録(案)
- 資料19-2 電気システムセキュリティ特別技術委員会 委員名簿
- 資料19-3-1 「スマートグリッドにおける電磁的セキュリティ特別調査専門委員会」活動報告
- 資料19-3-2 「安全・安心の電気エネルギーセキュリティ特別調査専門委員会」活動報告
- 資料19-3-3 「Cyber Physical Systems Security 特別調査専門委員会」活動報告
- 資料19-3-5 「社会インフラ用センサシステムセキュリティ特別調査専門委員会」活動報告
- 資料19-4 平成29年全国大会 シンポジウム 提案書
- 資料19-5 電気システムセキュリティ特別技術委員会関連 進捗状況
- 資料19-6 活動概要の取りまとめのお願い

議事概要

1 開会挨拶

栗原委員長より, 開会にあたり挨拶があった。

2 前回議事録の確認

資料19-1に基づき, 平成28年7月11日に開催された第18回委員会の議事録(案)について確認を行い, 一部修正の上承認された。

3 特別調査専門委員会からの報告

3-1 「スマートグリッドにおける電磁的セキュリティ特別調査専門委員会」(瀬戸委員)

資料19-3-1に基づき, 活動状況について報告があった。

第9回委員会を6月1日に, 第10回委員会を9月16日に開催した。

報告書の形態を技術報告単行本としている。欠席が続いている委員の分担分は他の委員が担当することとした。

「テロ等準備罪」の法案が成立する見込みである。現在は注意喚起などは行われていないが, 今後パンフレットの収集等において, 余波があるのではないかと。

(笹岡委員) 組織的犯罪集団には該当しないのではないかと。

(澤田委員) 制御システムなどでは停止することができないので, 報告書等の公開の範囲が難しいところがある。

(笹岡委員) 脆弱性を見つけた際にはIPA(独立行政法人 情報処理推進機構)が報告窓口となっている。対策と合わせて公開することとしている。JVN(脆弱性対策情報データベース)などもある。

(栗原委員長) 技術報告単行本の出版についてはどのような進捗か。

(瀬戸委員) B5版200ページを予定しており、電気学会出版事業委員会に認めて頂いた。

3-2 「安全・安心の電気エネルギーセキュリティ特別調査専門委員会」(桂幹事)(餘利野委員代理説明)
資料19-3-2に基づき、活動状況について報告があった。

第10回委員会を9月20日に開催した。

技術報告(に準じるもの)について紙媒体の印刷はせず、ウェブ上での無料公開としたい。公開するにあたり、一般の方へのアクセスの容易化についても要望があった。

技術報告(に準じるもの)を纏めるにあたり、活動期間の再延長の申請がなされた。

(奥村委員) 10月12日に発生した東京での停電をどう扱うかについても含められるか。

(栗原委員長) 扱いは難しいと思われるが、当該特別調査専門委員会にてご検討頂きたい。また、次回はぜひ委員の方にご出席頂きたい。

(栗原委員長) 2年間の活動期間に対し、2年間かけて取り纏めを行うのは不自然であり、1年間の再延長は長すぎると考えられる。半年間が妥当ではないか。

再延長理由についてもより明確にして頂きたい。何かしら意図があるのか。

(芹澤委員) 技術報告を執筆するという意向はどこから出されたのか。

(栗原委員長) 本特別技術委員会からシンポジウムのみではなく報告書形態に纏めて頂くことをお願いし、餘利野委員長に了承頂いている。

再延長の理由と期間について餘利野委員長に確認後、再度審議することとしたい。

3-3 「Cyber Physical Systems Security 特別調査専門委員会」(芹澤委員)

資料19-3-3に基づき、今年のC部門大会のシンポジウムセッションをもって解散されたことが報告された。

第2期の委員会(平成28年8月～平成30年9月)の設置が認められ、調査内容とスケジュールについて報告があった。

3-4 「スマートグリッドのスマートファシリティ内におけるEMC環境特別調査専門委員会」(奥村委員)

資料19-3-4に基づき、活動状況について報告があった。

技術報告の取り纏めにあたり、第18回委員会の議事録では延長申請は行わないこととしていたが、議論の結果、委員会の延長申請は行うこととしたい(半年間を予定)。

3-5 「社会インフラ用センサシステムセキュリティ特別調査専門委員会」(毛塚委員)

資料19-3-5に基づき、活動状況について報告があった。

第6回委員会(7月15日)、第7回委員会(8月3～4日)での審議内容について報告された。

今後、以下のように委員会の開催を予定している。

第8回: 11月25日 金沢工業大学(PHS研究会)

第9回: 3月 富山大学(全国大会シンポジウムを提案)

全国大会シンポジウムでは、防災(監視カメラ)をテーマとして行いたい。

(栗原委員長) 学術的な新規性はあるのか。

(毛塚委員) リアルタイムの予測と一体化させている。

(栗原委員長) 活動が多岐にわたっており、最終的にセキュリティとの関連を見える形にして頂けると良い。

4 平成29年全国大会シンポジウムについて

資料19-4に基づき、全国大会シンポジウムの提案について報告があった。

テーマ：電気システムセキュリティの未来

(栗原委員長) できれば今回の東京の停電に対するセキュリティなどについても含められないか。

5 その他

栗原委員長より、各特別調査専門委員会の活動概要を400～500字程度に纏めて頂き、11月30日までに桂幹事宛お送り頂きたいとの依頼があった。分量については、3分の1をこれまでの部分、3分の2をこの1年に行った部分にして頂けると有り難い。

以上

次回開催：第20回 委員会：平成28年 12月 19日(月) 15時00分～17時00分
自動車会館 2階 小会議室